

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40-(15)	献立の中で、昔ながらの食材の使い方や味付け・好みなども検討してみてはいかがか、と外部評価での意見。	明治生まれから昭和生まれまで、幅広い年代の入居者様がいて、味の好みも様々であるため、今後も栄養が偏ることなく、色々な味で食事を楽しんで頂けるように提供していく。	入居者様に好評なメニューや残量の多かったメニュー、入居者様の希望や職員の試食・検食時の意見などを栄養士に情報として提供していく。今後も継続して栄養士との献立会議を実施し、昔ながらの食材の使い方や味付けで食事を提供するとともに、高齢者は昔の味付けが好きと言う固定観念に捉われることなく、色々な食材・味付で食事を提供していく。	3ヶ月
2	35-(13)	防災訓練は消防署立会いで年2回実施しているが、自主訓練は1回のみだった。	年2回は自主訓練を実施出来るようにしていく。	年間の計画に盛り込み、年2回実施出来るようにしていく。また、防災機器についても適切に使用できるように学ぶ機会を年間計画に盛り込み実施していく。	6ヶ月
3	4-(3)	運営推進会議は年6回実施しているが、行政担当者が仕事の都合で1回出席出来ていなかった。	毎回行政担当者に参加して頂く。	行政担当者が出席出来ない時には、代わりの方の出席をお願いするなど、毎回どなたかが出席して頂けるようにしていく。	3ヶ月
4	6-(5)	施設脇の道路の交通量が多い事や周囲が畠や山林であることから、安全性を重視する事業所の方針としてユニット毎の施錠を行っている。	安全性重視の観点から、施錠しない時間を作ることは難しいが、閉塞性を感じることなく過ごしていただけるようにする。	職員付添での散歩や外出行事、外食会などの機会を多く作る。また、慰問の受け入れを多く行い、地域の方との交流をすることにより、閉塞性を感じることなく楽しく生活して頂けるようにする。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。